

憲法かえずに政治をかえよう！

# かけはし

社会福祉法人山形虹の会  
山形虹の会と福祉を良くする友の会

山形県鶴岡市民田字代家田100-1  
TEL 0235-25-1131 FAX 0235-25-0810

介護老人保健施設かけはし 内

## 第23回 かけはし祭り開催 2019年 9月18日



なごみの会様



フラ オヒア・レファの皆様



若手職員によるダンス



ゲームコーナーで家族と一緒に楽しそうですね!!

九月十八日(水)に、かけはし祭りが老人保健施設内を会場に開催されました。当日利用者の皆様には振る舞い酒にかけはし祭りの行事食も提供されました。十一時からは、売店と友の会市が開店です。売店には、今年初めてチョコバナナクレープがお目見えしました。毎年人気の岩のりうどんも好評でした。利用者の皆様は、食事を終えご家族やボランティアの方と一緒にゲームコーナーへ、魚釣り、輪投げ、的あてなど

どのコーナーでも歓声があがっていました。かけはし写真館には今年も長蛇の列、記念写真を撮り、思い出作り。利用者からは「なんぼ並んででも撮りで」という声もあり、わくわくしておられるようでした。午後からのステージ発表はフラ・オヒア・レファの皆様によるフラダンスのオープニングに始まり、今年も神輿の登場です。なごみの会様による歌、若手職員有志によるダンスと大変盛り上がったかけはし祭りとなりました。

九月二十五日二十六日、第三十三回日本高齢者大会に参加して来ました。鶴岡を七時に出発。十一時には磐梯熱海に到着。温泉街を散策し昼食を取り、大会はユラックス熱海多目的ホールにて開催されました。全国から約二千名が参加いたしました。大会では、「原発事故から八年半！ふくしまの現実と原発ゼロへの道」安齋育郎氏の記念講演。まだまだ先のみえない原発事故から八年、福島の新しい現実が報告されました。その後、発言者のひとりからは、東日本大震災で被災し地域を追われ、家族と離れ離れになり、被爆に苦しみ、つらい経



かけはし祭り当日の行事食



さあお祭りだ!

美味しいごはんを食べて

験をしながら生活している人の話しなど聞き、まだまだ多くの問題を抱えているのだと、改めて痛感いたしました。夜の企画は、夕食後の十九時四十五分から、「終活について考える」というテーマの分科会に参加しました。講師の遠藤喜恵氏の長年の活動を交えながらの講演を拝聴しました。人生百年時代、誰にでも「老い」はやって来る、そのことにどう向き合っていくのかが、エンディングノート(夢ノート)の活用方法を学びました。二日目の分科会は、「高齢者にとつてのつながりの大切さ」について村山洋史氏と馬場康彰氏の二名の講演がありました。人と社会のつながりは私たちの健康にも密接に影響していることなどをしみじみ感じた講演でした。人と人とのつながりを大事に友の会の活動も進めていきたいと思えました。日本高齢者大会をはじめ、友の会 事務局 本間裕子

「被害を受けている人がいる。死につつある人がいる。生態系全体が崩壊しつつある。30年以上、何の曇りもなく科学は示してきたのに、どうすれば目をそらし、これで十分だなどと言えるのか」 9月に開催された国連気候行動サミットでステート・トゥンベリさん(16歳)の追求の言葉です。地球温暖化が進む中、地球温暖化を1.5度未満に抑えるというパリ協定の目標達成が困難視される中、米国は温暖化を否定、パリ協定からの離脱も表明しています。世界中の市民の思いを若者が代弁、各国の政策に苦言を呈しているのです。さらにグレタ・トゥンベリさんはこうも指摘しています。「私たちは大量絶滅のそば口にある。でも皆さんが口にできることといえ、お金のことで、経済成長は永遠に続くというおとぎ話だ」とも、資本主義の矛盾、誤りを指摘しているようにおもいます。この運動が世界の若者の大きな行動につながり広がっていていることを頼もしく感じました。今の経済や社会の仕組みが未来の地球・そして私たちの生活を壊している現状を直視、できる行動を始めなくてはと。 隅 爺

### かけ橋

### 栄養科から こんにちは!!



栄養科には、管理栄養士2名、調理師9名、調理員2名の合計13名の職員がおり、毎食

160から190食の食事づくりを担当しています。利用者の方が抱える病気や嗜好は人によって異なるため、その方に合った食事になるように何度も相談しながら提供しております。

こころがけている事は、季節を感じて頂ける食事です。「節分」や「天神祭り」、「大黒様の御年夜」など、年間15回の行事食があり栄養科一丸となって心をこめて取り掛かっております。「かけはしのごつつおうは最高だ」と言って頂くこともあり大変励みになります。又、噛んだり飲んだりする事が困難な方にもひと工夫する様にしています。「柔らかいフライドチキン」や「飲み込みやすい笹巻き」、「餅米を使わないぼた餅」などは特に好評で、かけはしの定番になっています。

これからも多くの方から親しまれ、元気に生活できる食事になる様に力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。

栄養科主任 管理栄養士 松澤悦子



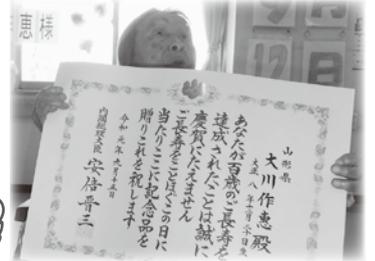
## 寿賀の贈呈

山形県より九月十二日に「満百歳」の方に寿賀祝の贈呈が行われました。今回は介護老人保健施設に入所されている利用者四名が贈呈の対象となりました。一つの施設で四名の方がいる施設は他にないといふ職員の方より話があり、すばらしい事だと感じました。お祝いの際には赤色のちゃんちゃんこを着て、ご家族様と一緒に写真を撮り笑顔がみられました。これからも元気に過ごして頂きたいと思ひます。

介護課長 鈴木美幸



安藤千代女様



大川作恵様



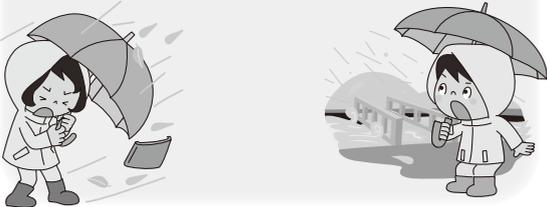
大久保歳恵様



松浦花子様



## 風水害訓練



グループホームは9月30日に風水害訓練を行いました。かけはし内でも低い場所に建っている為、豪雨による増水の時には老人保健施設へ避難することになっています。当日は晴れでしたが、災害時のような緊張感をもった訓練となりました。訓練後の反省会では、増水時は水が入り重くなる為、長靴ではなく普通の靴をはくことや、雨で濡れるので着替えやタオルを用意すること、水害は地震と火事とは違い準備する時間があることなどを確認し、充実した災害訓練となりました。

グループホームかけはし 副主任 佐藤辰美

2019 共同組織強化月間  
十月から全国一斉に共同組織強化月間が始まりました。現在在宅生活を送るうえで必要なケアプランは全額介護保険で負担していますが、今後ケアプランの有料化が検討されています。今年はその制度見直しの中止、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険の抜本改善を求める請願書名に取り組みます。また、

聞き伝えられる役割があり、そして記者・報道に関わる者として二度と戦争を起させない事が重要であると語られました。今進められている国の方向性をしっかりと見極める事が、国民には必要だと感じた講演でした。

望月衣塑子講演会  
九月十四日(土)、三川町公民館で約四百名が参加して講師は東京新聞社会部記者望月衣塑子氏の「メディアと日本の危機」と題した講演会がありました。微用工問題から総理の事実誤認発言、辺野古埋め立て、憲法九条問題等二時間では足りない量の話しがありました。その中で、記者は国民が気になる事を

組織の強化として仲間増やしや月刊誌「いつでも元気」の普及、この「かけはし」を配っていただけの方も増やして、顔と顔でつながる組織づくりをもっと広めていきたいと思ひます。ぜひこの機会に地域の福祉をよくする、友の会を大きくする月間にご協力よろしくお願ひします。

事務長代行 奥泉ひとみ



社保担当 齋藤雄一



## お知らせ

友の会市 介護老人保健施設 かけはし正面ロビー

11月11日(月) 第2月曜日

12月2日(月) 第1月曜日

午前10時～午後2時

## スタッフ急募 [正職員・他]

社会福祉法人山形虹の会 かけはし

- ①正職員 看護師 准看護師
- ②正職員 介護福祉士 ヘルパー2級or初任者研修終了
- ③正職員 歯科衛生士
- ④正職員 相談員(社会福祉士or社会福祉主事)
- ⑤正職員 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
- ⑥介護職員(資格不問) 正職員登用制度あり
- ⑦特養ホーム夜勤専門員 20:00~6:00  
1回8,600円×月10回=86,000円

問合せ 鶴岡市民田字代家田100番1 TEL0235-25-1131 担当/原田  
<https://niji-kakehashi.or.jp/>

介護に関する「不安・悩み」は かけはしへ お寄せください。 相談員 ケアマネジャーが 相談に応じます 0235-25-1131